

組合会が開催されました

平成 29 年 6 月 26 日 (月)、「奈良県産業会館」において第 157 回組合会が開催され、各議案とも慎重な審議が行われ原案どおり議決されました。

第157回組合会 日程第1議第1号 平成28年度決算について
 日程第2議第2号 奈良県市町村職員共済組合運営規則の一部を変更(案)することについて

平成28年度 決算の概要について

総括事項

組合員数及び被扶養者数とも、平成 27 年度末と比較すると組合員で 167 人の増、被扶養者で 174 人の減少となりました。また、組合員数の増加や給与改定により、掛金等の標準となる標準報酬月額や標準期末手当等の額も増加しました。



地方公共団体の数

市	12
町	15
村	12
一部事務組合等	31
計	70

組合員等の状況

組合員数 (長期組合員、任意 継続組合員を含む)	被扶養者数 (任意継続組 合員を含む)	適用区分	標準報酬月額	標準期末手当等年度累計額
			(円)	(円)
13,936 人 ◀ 167 ▶	14,673 人 ◀ 174 ▶	長期	5,386,982,000 円 ◀ 121,640,000 ▶	20,680,564,000 円 ◀ 550,288,000 ▶
		短期	5,530,360,000 円 ◀ 115,338,751 ▶	20,749,513,000 円 ◀ 584,590,000 ▶

※◀▶内は前年度対比を表す。

組合員 1 人当たりの被扶養者数 = 1.05 人 ◀▲0.03 ▶

短期経理

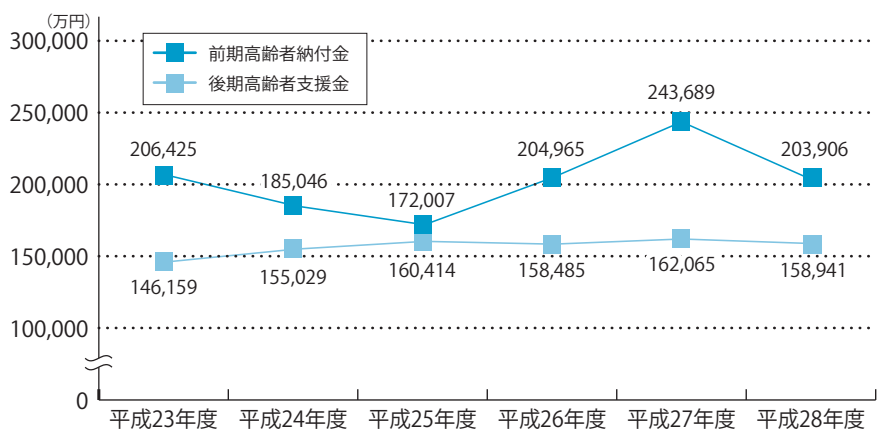
収入合計 10,611,609 千円 - 支出合計 10,382,611 千円 = 228,998 千円
 (内訳 当期短期利益金 218,419 千円, 当期介護利益金 10,579 千円)

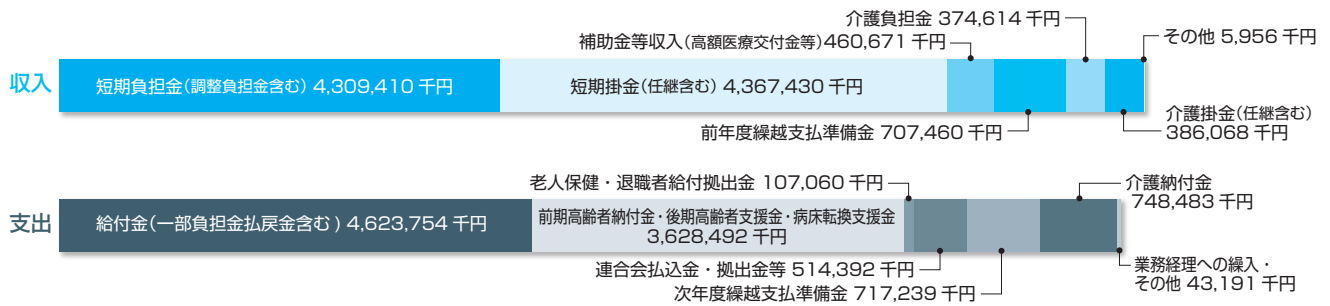
- この経理は、組合員や被扶養者の皆さんの病気やケガ等による医療費等の給付などを行う経理です。
- 平成 28 年度は、収入は前年度から約 1 億 8,613 万円の増、支出は約 4 億 3,130 万円の減となりました。
- 収支の結果、当期短期利益金と当期介護利益金を生じたので、当期短期利益金は、前年度より繰り越した短期繰越欠損金に充当し、なお利益金が生じるため欠損金補てん積立金へ積み立てました。また、当期介護利益金は、全額介護積立金へ積み立てました。

平成28年度医療給付実績(現金給付を除く)

	件数 (件)		日数 (日)		金額 (万円)	
		前年度比		前年度比		前年度比
組合員本人	122,972	1,705	213,544	5,082	182,442	1,165
家族	127,016	▲ 103	212,791	401	181,601	4,885
合計	249,988	1,602	426,335	5,483	364,043	6,050

高齢者医療制度への拠出金等の推移





厚生年金保険経理

収入合計 18,765,730 千円 - 支出合計 18,765,730 千円 = 0 千円

○この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、厚生年金給付に係る組合員保険料及び所属所からの負担金を徴収し、全国市町村職員共済組合連合会（以下「市町村連合会」という。）へ払い込みを行う経理です。

損益内訳

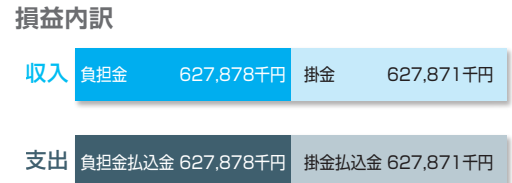


退職等年金経理

収入合計 1,255,749 千円 - 支出合計 1,255,749 千円 = 0 千円

○この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、退職等年金給付（いわゆる「新三階」）に係る組合員からの掛金及び所属所からの負担金を徴収し、市町村連合会へ払い込みを行う経理です。

損益内訳



経過的長期経理

収入合計 135,498 千円 - 支出合計 135,498 千円 = 0 千円

○この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、主に旧職域年金部分の給付、既裁定の公務障害・遺族年金の給付などに係る所属所からの負担金を徴収し、市町村連合会へ払い込みを行う経理です。

損益内訳



経過的長期預託金管理経理

収入合計 83,493 千円 - 支出合計 83,493 千円 = 0 千円

○この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、長期給付積立金の一部を市町村連合会から預託を受け、貸付経理への貸付金・縁故地方債の購入等の管理・運用を行うための経理です。

損益内訳

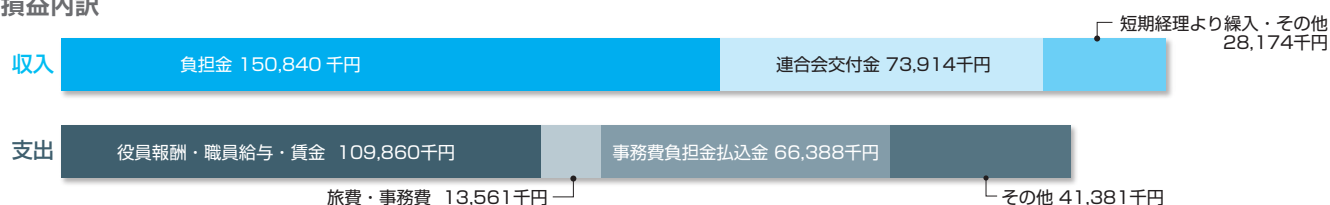


業務経理

収入合計 252,928 千円 - 支出合計 231,190 千円 = 21,738 千円 (当期利益金)

- この経理は短期給付や長期給付に要する事務費や人件費等、また全体の管理運営上の諸経費等の事務コストを処理する経理です。財源は、地方公共団体から徴収した事務費負担金、市町村連合会からの交付金と、短期経理からの繰入金です。
- 収入は、連合会交付金の増加などにより、前年度から約 2,796 万円の増、支出は連合会分担金が新たに設けられたことなどにより約 2,857 万円の増となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じたので、全額積立金へ積み立てました。

損益内訳

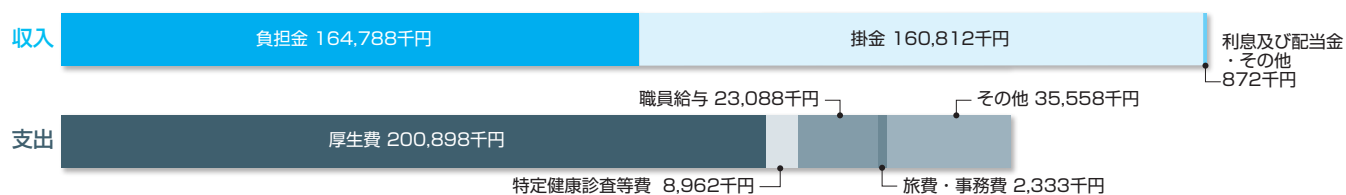


保健経理

収入合計 326,472 千円 - 支出合計 270,839 千円 = 55,633 千円 (当期利益金)

- この経理は、組合員や被扶養者の皆さんの健康管理に役立てていただくため、成人病健診、人間ドック、保健講座、助成事業、特定健康診査、特定保健指導などの保健事業を行う経理です。
- 収入は組合員数の増加などにより前年度から約 431 万円の増、支出は事務コストの削減等により約 366 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じた。
- この当期利益金と欠損金補てん積立金より取り崩した約 4 万円を、前年度より繰り越した積立金へ積み立てました。

損益内訳



貯金経理

収入合計 1,153,585 千円 - 支出合計 964,566 千円 = 189,019 千円 (当期利益金)

- この経理は、組合員の皆さんからお預かりをした組合員貯金を、安全かつ効率的に運用し、利息として還元する経理です。
- 収入は保有する債券の運用益が減少したことにより、前年度から約 544 万円の減、支出は事務コストの削減を図りつつも、支払利息の増加などにより約 1,422 万円の増となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。
この当期利益金のうち約 9,634 万円を前年度より繰り越した欠損金補てん積立金へ積み立て、残りを積立金へ積み立てました。
- 平成 28 年度末の貯金の状況 ※《 》内は前年度対比を表す。

貯金総額	貯金者数	貯金加入率	支払利率
691 億 7,100 万 6,382 円 《 19 億 2,699 万 4,952 円 》	9,333 人 《 18 人 》	66.97% 《 ▲0.68% 》	平成28年4月1日より 年利 1.3% 平成28年10月1日より 年利 1.25%

損益内訳



貸付経理

収入合計 92,455 千円 - 支出合計 95,874 千円 = ▲ 3,419 千円 (当期損失金)

- この経理は、組合員の皆さんが資金を必要とするときに、普通貸付・住宅貸付・入学貸付・修学貸付・高額医療貸付などの融資を行う経理です。財源は、経過的長期預託金管理経理及び短期経理からの借入金です。
- 収入は貸付金の減少に伴う利息収入の減少などにより前年度から約 1,888 万円の減、支出についても貸付金の減少に伴う支払利息の減少などにより約 1,896 万円の減となり、収支の結果、標記の当期損失金を生じました。
この当期損失金は、前年度より繰り越した欠損金補てん積立金を取り崩して補てんしました。
- 平成 28 年度末の貸付金の状況 ※《 》内は前年度対比を表す。

貸付総額	貸付件数	主な貸付の利率
31 億 3,762 万 4,973 円 《 ▲6 億 5,619 万 838 円 》	1,933 件 《 ▲282 件 》	普通・住宅・特別：年 2.66% 災害：年 2.22%

損益内訳

